

まつやましののめたんきだいがく  
松山東雲短期大学 しののめベジガール

～愛媛県民を愛顔に！食の大切さ野菜帽でPR～



東温市健康フォーラムで朝食・野菜クイズ



1杯で不足分を補うスムージー試飲。400杯/h

## 経緯

- 愛媛県では、県民健康調査結果に基づき、平成28年より若い世代・働き盛りの食生活改善の為、「愛顔のE-IYOプロジェクト」に取り組んでいる。
- 県民の野菜・朝食摂取向上の啓発活動のため、松山東雲短期大学食物栄養学科の学生が、色とりどりの野菜帽がトレードマークの『しののめベジガール』を結成し、行政・企業・地域と連携。

## 取組内容

- カゴメ(株)、東温市、大洲市と連携し、野菜スムージー試飲や啓発活動による食育推進を実施。
- 大塚製薬(株)と連携して、ベジガール全員が「熱中症対策アドバイザー」を取得し、熱中症予防の啓発活動を実施。
- 松山市SDGs推進協議会と連携し、スマートアイランドモデル「中島」の地元食材を活かしたにぎわい創出メニュー考案中。

## 活動の効果

- InstagramやTwitterで情報発信することにより、本学への入学動機となり、自身の食生活を見直すきっかけにもなっている。
- 専門性を活かした活動がTVや新聞に取り上げられ、啓発活動の情報発信となっている。
- 卒業生の多くが地元就職し、地域課題に取り組んだ経験から、地域のリーダーとして活躍している。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

SDGs(持続可能な開発目標)17の目標のうち「2.飢餓をゼロに」「3.すべての人に健康と福祉を」の実現を目指して活動し、活動した学生・地域・企業など、それぞれにwinがwinを呼ぶ活動となっている。

奨励賞

えひめけんぎょぎょうきょうどうくみあい

おおはましよ

じよせいぶ

## 愛媛県漁業協同組合大浜支所女性部

～来島海峡の天然真鯛「来島鯛」を食べてみて～



女性部のみなさん



商品開発したメニュー

## 経緯

- 大浜地区では、高齢化・後継者不足と重なり、漁業者人口が減少傾向になっているが、「活気ある浜に戻りたい」と水産庁の浜プランの承認を受けた。
- プレジャーボート収容施設や駐車場、公園が整備され、公園内に魚介類の提供や宣伝が行える加工直販施設の建設が決定し、運営者として女性部に白羽の矢がたった。

## 取組内容

- 大浜支所で水揚げされる天然真鯛『来島鯛』を中心に、大浜で水揚げされる魚介類を使ったメニューを開発。
- 「大浜の魚を知り食べてもらいたい」「美しい来島海峡の絶景を含め、訪れる観光客へおもてなしがしたい」「また来たいと思える愛着の持てる場所にしたい」という3つのコンセプトを元に、私達の航海船『浜の台所「潮里(しおり)」』丸が出港。

## 活動の効果

- 「潮里」への地域内外のリピーターも増え、地域に活気が出てきた。また、「潮里」が地域コミュニティの場となった。
- モーニングメニュー提供時には、「大浜のモーニング娘(地元高齢者の愛称)」が来店するなど交流や安否確認の場となっている。
- 地元の方の定期的な来店や、ねぎらいの言葉をかけてくれる様になり、少しずつ活気のある浜に戻りつつあるように感じる。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

漁協直営店ならではの新鮮かつリーズナブルな価格で味わえる魚料理と、来島海峡を目の前に眺める絶景や地元の人との交流を楽しみに来てください。

3

やわたはま  
愛媛県八幡浜市

6次産業化

伝統の継承

学生・若者の  
活躍



えひめけんりつかわのいしこうとうがっこう

ぎやっぶ

## 愛媛県立川之石高等学校 GAPチーム

～ GAPでつながる地域の輪～



柑橘11品目でグローバルGAP認証取得

第3回ダルメイン世界マーマレード  
アワード&フェスティバル日本大会



高校生では  
唯一!

第1回大会に続きプロの部で入賞!

(第1回大会 柑橘1種 銅賞: 甘夏、銅賞: 清見、第2回大会は中止)



柑橘1種 銀賞



清見



柑橘1種 銅賞



伊予柑



柑橘1種 銅賞



日向夏

ダルメイン世界マーマレード大会に出品

### 経緯

- 地域社会において、農業分野のグローバル化への対応を牽引・指導する次世代リーダーの必要性を実感。
- 平成28年度から(株)ミヤモトオレンジガーデンの協力を得て、柑橘のグローバルGAP認証取得を目指して取り組み、地域のモデル校を目指すことで次世代リーダーを育成。

### 取組内容

- グローバルGAP認証を取得した柑橘を使って世界マーマレード大会へ出品。
- 柑橘や柑橘加工品の輸出、GAP認証取得、GAP学習会、販路学習などを地元企業3社と連携して実施。
- 被災した柑橘農家の応援のため、地元地域や東京で復興マルシェイベントに参加。
- 大学や農業大学の職員を講師に招き、柑橘園付近に生息する鳥獣害対策を学習すると共に生物調査を実施。

### 活動の効果

- 鳥獣害対策や生物調査、GAP認証取得が日本農業遺産認定に繋がった。
- 海外輸出における成果や課題をJAなどに共有することで地域に還元。
- 地元企業と連携した取組を通じて生徒(農業後継者)の育成に繋がる。
- 被災した柑橘農家を応援することで地域の活性化に貢献。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

海外販売や地域での販売を通じて、グローバルGAPをさらにPRすると共に、こうした活動を継続することで世界農業遺産認定を目指したい。

八幡浜市保内町川之石1番耕地112 Tel: 0894-36-0550



えひめけんりつやわたはまこうとうがっこう

しょうぎょうけんきゅうぶ あきんど

## 愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND

～魚食教育の推進と水産業の魅力発信！～



小学生との給食交流会



地元イベントでの販売活動

## 経緯

- 本校商業研究部は平成12年から「バーチャルカンパニーA★KIND (アキンド)」の名称で活動。
- 八幡浜市に水揚げされる魚に「未利用魚」が多く存在することを知り、未利用魚の活用を考案した。
- 「発信力の弱さ」を改善して「魚食の推進活動」を強化し、水産業の魅力を発信する活動を行っている。

## 取組内容

- 未利用魚を使ったメニューを小中学校に給食として提供。
- 未利用魚の魚食マップのクリアファイルを作成し、市内小学生と教職員全員に提供。
- 未利用魚を使用した定食(3種類)を提供するツアーを実施。イベント定食として提供。
- 地元日曜市で販売活動を実施。
- コロナ禍では、商品開発を中心に活動を行っている。

## 活動の効果

- 日曜市での販売活動では、予想以上の売上が実現した。
- 当活動に興味を持ってもらえる関係機関も増え、イベントへの参加依頼が増加し、取組が広がってきた。
- 魚食の普及は学校給食のメニューの考案等、継続的に実施できるようになった。
- 八幡浜漁業協同組合と共同企画し「八幡浜いよかん鯛めし」を商品化。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

自分たちの活動で周りの人たちを支援することは、自分の人間性を高めてくれることも理解することができました。今後も地域貢献活動を継続していきます。

奨励賞

にいはましりつべっしちゅうがっこう

**新居浜市立別子中学校**

～地域と共に野菜をつくり、共に未来をつくる～



生徒全員で「別子ファーム」の看板制作



活動の経緯や現状を地域の方にプレゼン

**経緯**

- 地域の活性化を目指そうと、2019年、生徒の一人が中学生と地域が協働で野菜づくりに取り組む活動『別子ファーム』を立案。
- 2020年、地域の方から野菜づくりの知恵をいただきながら、協働で野菜づくりをスタート。

**取組内容**

- 地域の方から無償で土地を借り、畑づくりから苗植え、栽培方法まで指導してもらい、協働で野菜づくりに取り組む。
- 生徒が地域の人とパートナーシップを築くことで、過疎問題等の地域課題解決に向けて取り組んでいる。
- 生徒は野菜の生産から流通、消費までの経済活動を体験的に学習。

**活動の効果**

- 生徒と共に野菜づくりを行うことで、地域の方にとっての喜びや希望となっている。
- 生徒は野菜づくり等の体験を通して農業と農産物の尊さを理解でき、流通・消費の経済活動を体験することにより、社会で活躍するための視野を広げることができる。

**応募団体からのアピール・メッセージ**

IT化やグローバル化に対応した学習を進める中で、ローカルで人や自然とつながる教育活動を充実させ、教育を軸に人が集まる地域にしたい。

奨励賞

えぬびーおーほうじん

にじゅういち

せんじょうたなだ

## NPO法人 うちぬき21プロジェクト 千町棚田チーム

## ～千町棚田の環境保全と地域活性化を図る～



棚田オーナーによる稲の収穫



地元高校生との放置竹林調査・整備

## 経緯

- 千町棚田は、約80ha（石組2300枚）の農地を開拓し、稲・麦作中心の農業を行ったことに始まる。
- 近年、耕作放棄地の増加、獣害被害による石垣の崩壊が進む。
- 千町棚田の石垣保存と自然農法の農業で棚田の環境保全と地域活性化を目指し活動開始。

## 取組内容

- 耕作放棄地となっている棚田を借り入れ、市民と一緒に稲や野菜を栽培し、棚田の環境保全活動を行う。
- 棚田オーナー制を実施し、農業や石垣の保全に取り組む。
- イベントや農業体験活動、棚田ライトアップを実施。
- 地元高校生と放置竹林の整備を行い、廃棄される竹の利用にも取り組む。

## 活動の効果

- 活動当初20aから始めた水田面積は、2000年度には耕作放棄地2haを借り入れ稲作、野菜、柚、梅の栽培を行い、耕作放棄地の解消に寄与している。
- そば栽培や地域伝統行事の継承活動を行うことにより、地域の活性化が図られている。
- NPO法人Kodomo Saijoとコラボし、地元住民と農業や地域行事の交流を行うことにより、地域活性化が図られている。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

地元住民の方々との協力により棚田オーナー制を実施し、農業や石垣の保存を行い、「つなぐ棚田遺産」に選定されることを目指し充実した活動を行っている。

えひめけんりつたんばらこうとうがっこう えんげいかがか やさいはん  
愛媛県立丹原高等学校 園芸科学科 野菜班

## ～地域を支える高校生（SDGsへの取組）～



生徒達によるリアカー販売



中学生との交流学习

## 経緯

- 新型コロナの影響で交流学习が軒並み中止となり、このままでは地域とのつながりがなくなると懸念を抱いた。
- 「みんなで幸せになれる地域」を目指し、安全・安心な野菜作り、SDGsや新しい生活様式を取り入れた交流学习など、地域を支えることができる高校生の育成に取り組むこととした。

## 取組内容

- リアカー販売で接客を行い、学校で生産した安心・安全な野菜を地域の方に届ける取組を行った。
- 保育園、小中高校生、特別支援学級との連携学習を実施し、交流学习のあり方を検証。ミニトマト苗を市内の小中学校に提供し、ミニトマト栽培動画を作成して、農業に関心をもってもらえるよう「農業の魅力」を地域に伝えた。

## 活動の効果

- 生徒がリアカーでの接客販売を行うことで、対話能力・農作物への理解度が向上し、地域を担う高校生として、日々成長できている。
- 「愛媛県立とべ動物園」と連携し、動物園堆肥を利用した規格外野菜の提供を行う循環サイクル野菜を販売・交流学习で利用することで、SDGsの認知向上を行うことができた。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

交流活動の幅を広げていき、SDGsについて学び、多くの人に広めていきたい。さらに、「SDGs未来都市」に選定された西条市とも連携をしていきたい。

奨励賞

さいじょうしえいようきょういんぶかい

## げんきアップ！おうえんたい（西条市栄養教員部会）

～みそ汁でつなぐ食の未来（人生100年時代）～



麴から手作りするみそ作りの様子



チャレンジTheみそ汁 2021カレンダー

## 経緯

- 全国的に食育の必要性が高まり、西条市においても小中学校に栄養教諭が配置されたが、11名しか配置されなかった。
- 栄養教諭等未配置校および家庭、地域においても食育の推進を図ろうと「げんきアップ！おうえんたい」を結成し、市内全域で食育活動に取り組んでいる。

## 取組内容

- 麴から手作りするみそ作りがきっかけで、家庭での体験学習である「チャレンジTheみそ汁」を市内の全小中学校で実施している。
- 食材の収穫から始まる親子料理教室や、地場産物を使った給食レシピを考える小中学生料理コンクールを実施している。
- 市民対象の試食会とパネル展示等で献立の紹介を行ったり、地元産物を使ったレシピを出展したりして学校給食のPRを行った。

## 活動の効果

- 「チャレンジTheみそ汁」を体験した児童生徒の感想から、食文化への理解や感謝の気持ち、調理技術の向上が伺えた。
- 「小中学生料理コンクール」の入賞レシピは、市内の給食献立に取り入れている。
- 栄養教諭未配置校での食育出前授業を実施することで、市内全域の食育を推進することができた。また、コロナ禍ではオンラインを活用した講演も実施した。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

学校給食に地場産物を活用し、郷土料理や行事食を実施することで、地元の農林水産業の活性化や、未来を担う子供たちの健康増進、および食文化の継承を図っている。



えひめけんりついのうぎょうこうとうがっこう  
愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班  
せいかつかがくしよくもつほん

## ～いよはよいプロジェクト ー地域食材PR活動ー～



地域食材を使用したレシピを考案し、伊予市をPR



ウェルピア伊予バイキング提供の様子

## 経緯

- 伊予市で唯一の高校として「大好きな伊予市のために、地域のお手伝いをしよう!」という目標のもと、3年前から「いよはよいプロジェクト」を展開。
- 当初は保育所のお遊戯会の衣装の製作、地域の清掃を始め、地域の方々を手助けする活動、私たちができることにチャレンジ。

## 取組内容

- 花の森ホテルと連携し、「中山栗メニュー」の提供。愛媛県森林組合と伊予市学校給食センターと連携し、給食献立の開発。
- ウェルピア伊予と連携し、ランチのバイキングメニューを開発。
- コンテストにチャレンジし、伊予市の魅力をPR。
- 企業とコラボしてテイクアウトメニューの開発・販売。

## 活動の効果

- ウェルピア伊予と連携し、ホテル敷地内の空き地に「ウェルピア農園」を作って、職員の方と一緒に野菜を栽培し、開発したランチのバイキングメニューに使用。
- JAカレンダー掲載レシピコンテスト等に採用され、伊予市の食材のPRに貢献。
- 道後のホテルと連携し、お弁当を販売。コンビニと連携し、コンビニスイーツを開発。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

伊予市はステキな場所も多く、魅力的な地域です。私たちの開発したレシピが「ご当地グルメ」となるよう、更なる研究を続けていきます。また、たくさんの人に伊予市について知ってもらい、「伊予市に行ってみたい!」と思っただきたいです。伊予市唯一の高校の高校生として、伊予市に来た人、住んでいる人みんなが笑顔になるような活動を続けていきます。

伊予市下吾川1433 Tel:089-982-1225



特別賞

えひめけんりつみさきこうとうがっこう

## 愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」

～四国最西端から最先端の活動を！～



みさこう Cafe



第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&amp;フェスティバル

## 経緯

○本校の位置する伊方町は少子高齢化が急速に進行しており、主力産業である農業・漁業や伝統文化等の継承が課題となっている。そこで、高校生が地域の中に入り、地域の人と関わることで地域を活性化するとともに、将来、地域に帰りリーダーとなることのできる人材の育成を目指して活動に取り組むようになった。

## 取組内容

○本校では全校生徒で行う地域活性化活動「せんたんプロジェクト」を行っている。このプロジェクトでは、全校生徒が6つのグループに分かれて探究活動に取り組んでおり、その成果物として、みさこうCafeの営業やだいたいマーマレードの開発、地域PR用のショートムービーの製作、幼小中高合同の防災避難訓練の実施、防潮堤に絵を描くイベントの開催、サイクリングイベントの主催等、さまざまなプロジェクトを実施している。

## 活動の効果

- 「みさこうCafe」で地域の特産物を活用した商品を提供し、町内外から100名を超えるお客様に来ていただき、佐田岬半島のアピールにつながっている。
- 「第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」アマチュアの部において金賞(ベストカテゴリー賞)を獲得し、高校生部門で「世界一」に輝いた。
- 本校の入学人数の増加、さらに「佐田岬半島にある三崎高校」として多くのメディアに取り上げられたことによる、本校及び伊方町の関係人口の増加につながった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

生徒一人一人と地域住民との関わりをより密にすることで、生徒のキャリア形成と伊方町への移住・定住者数の確保につなげていきたい。